

ガバナー挨拶

2024-25年度 国際ロータリー 第2570地区

い そ ば た
ガバナー 五十幡 和彦
(行田さくらRC)



地区研修・協議会にあたって

次年度会長・幹事を始めとしたクラブリーダーの皆様、そしてこの度の協議会に向け多大なる準備をしてこられた坂口ガバナーエレクトを始めとした2025-26年度地区役員の皆様、本日の地区研修・協議会の開催を心よりお慶び申し上げます。

次年度地区3大研修の中の「地区研修・協議会」の役割

次年度に向けた地区3大研修の中で、

- ・地区チームラーニングセミナーは次期地区役員を対象に、次年度のRI活動方針、地区活動方針を共有化し、クラブを支援する地区チームを築き上げることが目的です。
- ・会長エレクト研修セミナー(PETS)は次期クラブ会長を対象に、次年度RI活動方針、地区活動方針を共有化し、クラブ会長としての準備と意欲を高める場です。

それでは地区研修・協議会はどのような役割を持っているのでしょうか

- ・地区研修・協議会は次期クラブ会長、および次年度に指導的役割を果たすクラブ会員を対象に、次年度RI活動方針、地区活動方針を共有化し、クラブの指導者としての準備と意欲を高めることが目的です。

そしてこの協議会はPETSを経て示した次期クラブ会長方針のバックボーンを、足並みを揃えるべく次期クラブリーダー間で共有化する場でもあります。

ロータリーが世界に与えることができる最大の贈り物・財産は「会員」

2025-26年度からRI会長テーマは、RI会長メッセージに代わり、マリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴRI会長エレクトはメッセージとして「Unite for Good ～よいことのために手をとりあおう～」を示しました。そしてマリオ会長エレクトはロータリーの最大の財産は「その歴史でも、プロジェクトでも、比類なき世界的広がりでもありません。それは会員です」と語っています。

「会員」が最も価値のある資産だからこそ、会員増強とそれによる活性化が最優先課題

更にマリオRI会長エレクトは「ロータリーが世界に与えることのできる最大の贈り物は会員です」「私たちのすべての成果、プロジェクト、パートナーシップは会員にかかっています」「会員増強とは単に数字を増やすことなく、組織として私たちの力をさらに高め、ロータリーの使命を継続していくことです」と述べ、会員が最も価値のある資産であるからこそ、ロータリーにとって会員増強と、それによるクラブの活性化が最優先の課題であることを力強く宣言しました。

坂口年度は会員増強とクラブの活性化を通じて「強いクラブ」になることを支援!

これを受けて坂口ガバナーエレクトは地区の役割として、主役であるクラブが「強いクラブ」になることを目指し、会員増強とクラブの活性化を活動方針として掲げました。具体的には「会員基盤の強化」と「活動の多様化」「交流イベントの開催」などです。

改めて「地区はクラブのため」にあります。2025-26年・坂口年度において地区がクラブの皆様の役に立ち、各クラブの会員増強と奉仕プロジェクトの充実・活性化が図られることを心からご祈念申し上げます。